



2013年1月31日

各 位

会 社 名 協和発酵キリン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 花井 陳雄  
(コード番号 4151 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長  
諸富 滋  
TEL : (03)3282-0009

## 2013-2015年 中期経営計画策定のお知らせ

協和発酵キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：花井陳雄 以下、「協和発酵キリン」）は、このたび2013年を初年度とする3ヵ年間の中期経営計画を策定しましたのでお知らせ致します。

記

### 1. 基本戦略

協和発酵キリングループは、ビジョン実現に向け2013年からスタートする中期経営計画では、「グローバル・スペシャリティファーマへの挑戦」をテーマに下記の3つの基本戦略を定めました。

- カテゴリー 1) 戦略による国内競争力の更なる強化
- グローバル・スペシャリティファーマへ向けた欧米/アジアでの事業基盤拡充
- バイオケミカル事業の収益基盤の強化

1) : カテゴリー戦略におけるカテゴリーとは、「腎」「がん」「免疫・アレルギー」「中枢」の4つの疾患領域。

### 2. 経営目標

中期経営計画の最終年度である2015年の経営目標ガイダンスを以下のように定めました。なお、本中期経営計画より、売上高、営業利益ガイダンスについては1年毎にアップデート致します。

		2015年ガイダンス	2013年計画
売上高	連結	3,580億円	3,380億円
	医薬事業	2,600億円	2,510億円
	バイオケミカル事業	910億円	810億円
営業利益 <sup>2)</sup>	連結	600億円	550億円
	医薬事業	520億円	490億円
	バイオケミカル事業	80億円	58億円

2) : のれん償却後営業利益

### 3. 事業別の基本戦略

#### (1) 医薬事業

- ①カテゴリー戦略による国内競争力の更なる強化
  - ・研究開発から販売まで一貫したカテゴリー毎のポートフォリオマネジメントを形成します。
  - ・生産性の向上を図りながら、持続的な成長を達成させます。
  
- ②グローバル・スペシャリティファーマへ向けた欧米/アジアでの事業基盤充実
  - ・欧米における開発は、Kyowa Hakko Kirin Pharma を中心に ODDO<sup>3)</sup> を推進します。
  - ・円滑なグローバル・スペシャリティファーマへの飛躍に向け確固たる販売体制を欧米に構築します。
  - ・アジアにおける開発は、協和発酵キリンを中心として現地法人等を活用して推進します。
  - ・アジア各国の医療実態に合わせた販売体制を構築し、新製品の投入に努めます。

3) : One Drug Development Organization. 海外拠点の組織を一体的に運営し薬剤の開発に取り組むこと。
  
- ③グローバル・スペシャリティファーマに相応しい組織/風土への変革と機能整備
  - ・グローバル展開に対応した信頼性保証体制を構築し、優れた品質の医薬品を安定供給します。
  - ・グローバルレベルでのコンプライアンスの徹底に努め、社会の期待に応える CSR 活動へ取り組みます。
  - ・多様な背景を持つ人材が活躍できる環境を整え、グローバルに活躍できる人材を育成します。

#### (2) バイオケミカル事業

- ①事業構造改革の進展に伴う収益力の改善
  - ・第一ファインケミカルの医薬原薬事業推進により収益を大幅に改善します。
  - ・山口事業所統合を進め、省エネルギー、新技術導入によるコストダウンを推進します。
  
- ②為替要因による影響を最小化し得る事業基盤を構築
  - ・オルニチンの認知度向上、新製品投入により、国内ヘルスケア事業の拡大を進めます。
  - ・海外既存製造拠点での増産対応に努めると同時に、タイに製造拠点を新設します。
  - ・事業の更なるグローバル化を支えるロジスティクス、品質保証、人材育成に努めます。

### 4. 財務方針

当社では株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つに位置付けております。利益配分に関する方針は、今後の事業展開への備え等内部留保の充実を図るとともに、毎期の連結業績、配当性向及び純資産配当率等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的に配当を行うことを基本としています。

#### (1) 配当方針

のれん償却前当期純利益ベースで連結配当性向 40%を目途に安定的な配当を行うことを目指します。

#### (2) 自己株式の取得

柔軟かつ機動的に対応し、資本効率の向上を図ってまいります。

以 上